

こ だ ま

ベテラン選手から生き方を考える

キ

ング・カズこと三浦知良（かずよし）選手。高校を中退し、単身ブラジルにサッカー留学します。そこでの度重なる苦難を乗り越え、ブラジルのチームで活躍していました。そして、日本でのJリーグ（サッカーのプロリーグ）開幕を控え帰国し、当時のチーム「ベルディー川崎」で大活躍します。彼は、日本サッカー界の開拓者であったのです。あれから20年がたち、46歳になった今も現役を続けています。下野新聞2013.5月15日(水)の記事です。

「サッカーが好きだ。」という理由以外に、なぜ、三浦選手は現役を続けるのでしょうか。その理由を考えてみると、私たちにとっても有意義なことです。

- 日本のサッカー界に対して
- 若手プレイヤーに対して
- 自分自身に対して